

# 友 緑 だより

NO. 40

52/7

## 全国印刷緑友会機関誌

東京都杉並区和田1-29-11 (社)日本印刷技術協会内

◇発行人=作道亮雄◇編集人=小林 直

### 第20回印刷緑友会定期総会議事録

と き 昭和52年4月23日(土)

ところ 名鉄グランドホテル  
(名古屋市中村区笹島)

電話 <052> 582-2211

出席者 別紙名簿の通り

午後3時、名古屋而立会吉田君の司会により開会、副会長渡辺守将君(北九州 YP クラブ)開会を宣言。「君が代」斉唱の後末若直司君(福岡印刷若葉会)の唱導で緑友会綱領を唱和。

司会者、来賓として、次の三氏を紹介。

愛知県印刷工業組合理事長 奥村 敏雄氏

日本青年会議所印刷部会副部長 竹田 光宏氏

東京都青年印刷人協議会議長 八十島敏行氏

司会者、仙台刷親会から沖縄県印刷青年研究会に至る参加21グループを紹介のあと、名古屋而立会会長池田達彦君が歓迎のことば。

(池田達彦君の歓迎のことば、要旨以下の通り。)

北は仙台から南は沖縄まで全国各地からご参集下さりありがとうございます。特に20回総会という記念すべき時に開催地となり光栄に思う。また来賓の諸先輩には総会に花を添えていただき、厚く御礼申し上げます。名古屋駅に着いて感じられたと思うが、市の表玄関は今一種異様な雰囲気包まれている。というのも明日は市長選投票日、

市内は活気溢れる姿を呈している。然しそれは政治の話で企業を取巻く経済情勢は一段と厳しく四苦八苦の状態が続いており、容易に希望を見出すことはできず、こういう時期には情報社会、経済社会の味気なさを痛感させられる。われわれが緑友に参加する意義はここにあると思う。胸を開いて互いに語り合い、その中から乗り切る道しるべを得ることができるならば、緑友はまさに得がたい友だといえるだろう。昨年の神戸総会以後、全力を挙げて準備にあたったつもりだが、万般不行届きのことばかりかと思う。どうかその点は友情をもってお許しいただくようお願い致したい。

引続き、緑友会会長筒井尚亮君があいさつ。

(筒井会長のあいさつ要旨以下の通り)

今年は巳年だが緑友会は竜の年だと思う。飛竜瑞雲にのるといのように20周年の瑞雲にのってより高く駆け、成長していく年、会として成人の仲間入りを果たしたまことに意義深い年だと思う。

秋には東京の帝国ホテルで、在京グループと神奈川正和会のご協力で準備を進めている20周年記念大会が開かれる。

現在、印刷に対するニーズが変化し多様化し

ている。今までのように量的な対応ばかりでなく、質とアイデアが求められる。非常に重要な移行期に来ていると思う。

一方では3月の倒産が遂に1700件を超すという状態で、これはオイルショック前の3倍にもあたる。

こういふときこそ青年印刷人は、持てる力を寄せ合おう。今年は改選期にあたる。時は流れ人は変わっても緑友会旗は次々と引継がれて行く。在任中のご協力に心から感謝する。

奥村愛知印刷工組理事長より来賓の祝辞を受ける。

(奥村理事長の祝辞要旨下記の通り)

20周年の記念すべき総会が当地で開かれたことを光榮に思う。

全印工連の調査あるいは50年度の工業統計によれば印刷業は生産高2兆円を超す産業になっている。

全印工連傘下の各工業組合には1万1千社の組合員がいる。この実績だけをとってみても、印刷が情報化社会で重要な役割を果していることがわかる。その反面、近代化によって印刷業の物的生産性は高まったが、価値的生産性がそれに伴わなかった。この価値の“水洩れ”を許す体質、このアキレス腱を直す必要に迫られている。この水洩れ対策が、ほかならぬ「安定成長計画」である。正しい計算行為の導入による原価管理システムの普及、教育投資と資格制度の確立などを通じてこれと取組まなければならない。明治5年にすでに業界で過当競争が問題になっていたという記録がある。過当競争には百年の歴史がある。それを解決する手段、方法がなければ業界の発展はこれ以上望めない。今後はその手段、方法まで懇切丁寧に指導しなければ業界の発展はない。

20周年を機にさらに多くの新しいメンバーを加え、業界の水洩れを早く防ぐ運動に協力いただきたい。業界に命をかけていただくことを期待したい。

司会者、議長選任の方法を語り、「司会者一任」の声と同意の拍手により

若山晃一君(ぎふ印刷翠陽クラブ)を議長に指名、若山君議長席に着く。

若山議長議事に入る旨を告げ、第1号議案から審議に入る。

#### 1. 第1号議案 入退会の件

筒井会長報告にあたる。

①入会 広島印刷青年研究会 24名 代表国光俊彦君 昭和51年12月入会

②退会 なし

③その他 千葉など勧誘中

入退会の件 報告を拍手により承認、第2号議案に移る。

#### 2. 第2号議案 昭和51年度事業報告

渡辺副会長により報告

質問及び意見なし。議長承認を求め、拍手で承認、第3号議案に移る。

#### 3. 第3号議案 昭和51年度決算報告

常任幹事 水谷基也君(神奈川正和会)より報告

質問、意見なし。いったん拍手承認の形となったが、第4号議案会計監査報告と一括する旨議長訂正する。

#### 4. 第4号議案 昭和51年度会計監査報告

会計監査 八十島敏行君(千代田印刷人新世会)帳簿、諸証憑類精査の上、正確に執行されていると確認した旨報告。追って、会長はじめ役員諸兄の個人負担による財政カバーが窺える旨補足報告。

議長、第3、第4号議案を一括語り、拍手で承認。第5号議案に移る。

#### 5. 第5号議案 役員改選

任期満了に伴う役員改選を議長が提案、役員選出の方法を諮ったところ「議長一任」と決まり、議長、「筒井会長より次期会長の推薦をいただきたい」と指名。

指名を受けて筒井会長、次期会長に

作道亮雄君(大阪青年印刷人クラブ)を推薦する。

全員拍手で次期会長の推薦を承認する。

議長、作道新会長に常任幹事を推薦するよう求め、作道会長以下の通り推薦。

#### 1. グループ常任幹事

仙台刷親会、文京緑友会、神奈川正和会、名

古屋而立会、ぎふ印刷翠陽クラブ、神戸印刷若人会、福岡印刷若葉会、沖縄印刷青年研究会

2. 個人常任幹事（敬称略）

筒井尚亮、飯田範夫、渡辺守将  
中村守利、長倉克彦

3. 会計監査

渋谷徹夫、広橋裕介

4. 会務担当

(イ)会計 神戸印刷若人会

(ロ)緑友だより 印刷同友会

議長、以上の常任幹事ほかの推薦について信認を問い全員拍手でこれを信認する。

議長、新会長に就任あいさつを求め、作道会長あいさつにたつ。

6. 新会長あいさつ

（作道会長のあいさつ要旨次頁別掲）

議長、次いで筒井前会長に退任のあいさつを求め、筒井前会長あいさつにたつ。

（筒井前会長あいさつ要旨以下の通り）



退任のあいさつを述べる筒井前会長

月日の経つのは早いもので、若山氏から会長の椅子をはずかったのは2年前の福島総会だった。緑友の旗は次から次へ受け継がれていくが常に若い緑は変らない。全国を歩き、緑友の仲間と語り合った記憶はいつまでも消えない。作道、渡辺、飯田三副会長とはまるで兄弟のように腹藏なく話し合い、各地を歩いた。協力に厚く感謝すると同時に作道新会長を先頭に緑友の一層の発展を信じている。

議長、議案審議の継続を告げ、第6号議案に移る。

7. 第6号議案 昭和52年度事業計画

作道会長より事業計画を提案、併せて20周年記念大会準備については、実行委員長中村守利君の特別報告を求める。議長、中村守利君を指名。

中村実行委員長の報告要旨以下の通り。

1. 実行委員会について

千代田印刷人新世会、文京緑友会、東京写真製版若葉会、神奈川正和会、印刷同友会、プロセス製版青樹会の6グループから各3名で計18名、これに会長を加えた19名で実行委員会を構成、51年10月の発足以来6回の会合を開いている。

2. 決定した大会開催要領

(イ)日時と場所 52年10月8日（土）午前11時～午後8時30分、帝国ホテル

(ロ)内容 大講演会、分科会、式典、懇親会

主テーマは「高度化社会における印刷未来像を探る」副テーマとして「魅力ある印刷産業のために」を採用、分科会は教育、労務、技術、企業の社会ニーズ、経営思想など5分科会を設定する。

(ハ)今後の日程 5月末までに内容をすべて決め、6月に紙上発表、6月末にプログラム作成、7月15日～8月15日申込受付、8月30日登録完了の予定。

(ニ)記念誌 市村委員長、高橋、筒井両副委員長を中心に歴代幹事長が加わった17名の編纂委員会が編纂に取り組んでいる。

(ホ)人員 大会登録者300名、招待を含め400名と見込んで予定をたてている。

議長、第6号議案の質疑及び賛否を諮り拍手でこれを採択。第7号議案に移る。

8. 第7号議案 昭和52年度予算計画

常任幹事井上雅巨君（神戸印刷若人会）より総額1,881,392円の予算計画を提案、議長これを諮り、拍手により可決、成立。

9. 第8号議案 次期総会開催地決定の件

議長、作道会長に報告を求め、作道会長次期総会を神奈川で、神奈川正和会の主管により開催する旨を発表、拍手でこれを確認する。



## 効率運営で

### 価値ある裏方をめざそう！

会長 作 道 亮 雄

創立 20 周年という記念すべき年に指名を受け、その重責に今なお困惑している。私としては、これは最高の自己研鑽の場である。自分のために一生懸命やってみよう、それが結果として緑友のためにもなるのではないか……そのように考え、決意して引受けた。

緑友は、意欲あるグループが友情を基盤として交流し研鑽し合う場であるという。この定義は、緑友会の歴代を振り返ってみるとき多少のアクションはあったにせよ常に変らず、疑問の余地はなかったと思う。しかしその一面、緑友はその 20 年の歴史を通じて、いわば裏方的な存在、裏方の役割を果たしてきたと思う。自ら表面に立つことはないが、多くの立派な企業人を育てて来たし、また地域業界のリーダーを生み出している。これは忘れてはならないことだと思う。全国の緑友という友情のパイプを通じて企業で、地域で、大きくいえば日本の印刷産業の中で、裏方としての役割を立派に果たして来た。今後もまたその裏方としての価値をさらに高める努力を続けるべきだと思う。

決意をしてまだ日も浅く十分練れてはいないけれども、三つの基本方針というものを考えている。

一つは、未加入グループを加入させる努力。これは単に規模の拡大を意図するものではない。その努力を通じて今まで通じ合わなかった地域の情報を得ることができるし、また新しい多くの人格に接することができる。つまり組織の拡大それ自体が自己目的化するのではなく、その努力の結果として緑友会そのものの価値が向上するということだと思う。

二番目は緑友会として、全国のグループの活動に対し何らかの形で寄与する方向をめざしたい。

地域のグループが活発であってこそその緑友だと思う。そうはいっても、緑友には専従者もいなければ金もない。とてもそういうことはできない。しかし、私は運営面で、地域グループの活発化に寄与する方法を何とか生み出して行きたいと思う。緑友に入っているために地域のグループの幹事と会員が遊離したり、その会の予算を圧迫するなど、マイナスになるようなことがあってはならないと思う。

三つ目は効率運営をめざすということ。低成長という環境の中にあるだけに、時間や費用を最大限に生かさなければならぬ。従って、一つ一つの会合をより充実したものにし、効率的な運営を図りたい。

さらに具体的な問題について一、二申し上げたい。今期は副会長制をとらない。緑友というものは、すべての人が対等であり、同一の権利と同一の義務をもっていると思う。従っていわば平面的、水平的な共同運営であるべきだと思うし、その意味でタテ的、垂直的な性格をもつ副会長制をとらないという点についてご理解いただきたい。しいていえばすべての常任幹事が副会長だと考えている。

また常任幹事制についても、平等同格の見地からすれば、すべてのグループ代表者によって運営すべきだと思う。しかし現実にはむずかしい。そこで、運営の面で理想に近づける方法を何とか考えて行きたい。

以上を集約すれば効率運営で価値ある裏方をめざそうということに尽きる。

最後に筒井前会長に心から感謝と敬意を表し、あいさつに代えたい。

議長、その他の議案の有無をただしたのち、所定の全議案の審議を終了した旨を告げ、議事への協力に感謝のことばを述べて議長席を去る。

司会者の指名により、次期総会開催地代表

神奈川正和会 尾崎郁雄君  
受諾のあいさつにたち、神奈川も20周年を迎え、その事業もあるので重荷ではあるが、一丸になって引受けようとの意見でまとまった、よろしく協力をお願いする旨を述べ、拍手を受ける。

総会議事を終り、午後4時30分より

前名古屋市長 杉戸 清氏による講演「名古屋の今昔」を約

1時間にわたり聴講。講演のあと前全印工連専務理事井上 計氏のメッセージを受ける。  
午後6時 閉会。



懇親会で恒例の“おててつないで”

## 昭和51年度事業報告

### 1. 第19回定期総会

- 日時 4月24日(土)～25日(日)  
場所 神戸六甲オリエンタルホテル  
幹事 神戸印刷若人会  
参加者 20グループ47名  
内容 1. 昭和50年度事業報告  
2. “ 決算報告  
3. “ 会計監査報告  
4. 昭和51年度事業計画  
5. “ 予算計画  
6. 審議事項  
①入退会の件  
②西日本地区大会の件  
③全国印刷緑友会20周年記念の件  
④岩崎昌子氏に対する弔慰の件  
7. 次期総会の決定、代表あいさつ  
名古屋而立会会長 池田達彦君  
8. 記念講演 畑 専一郎氏

### 2. 創立20周年記念準備委員会

日時 4月30日(金)

- 場所 東京 千代田印刷会館  
参加者 13名(欠席4名)  
内容 1. 大会の概要について  
2. 大会大テーマについて  
3. 20周年史について  
4. その他

### 3. 20周年史編さん委員会

- 日時 8月17日(火)  
場所 東京 日本印刷会館  
参加者 12名(欠席3名)  
内容 1. 編さん方針 内容  
2. スタッフ  
3. 体裁、予算  
4. スケジュール  
5. その他

### 4. 第19回定期大会

- 日時 9月18日(土)～19日(日)  
場所 水戸 茨城県民文化センター(式典・分科会)  
大洗 茨交・大洗ホテル(懇親・宿泊)  
参加者 21グループ200名(オブザーバー団体4)  
内容 第1日  
1. 式典

2. 記念講演 塚本勝義先生（茨城大学名誉教授）
3. 分科会
  - ①第1分科会「中小企業における賃金問題」  
テーブルリーダー 作道亮雄君
  - ②第2分科会「構改後の取組方」  
テーブルリーダー 青木宏至君
  - ③第3分科会「コールド化と活版印刷」  
テーブルリーダー 飯田範夫君
  - ④第4分科会「料金問題」  
テーブルリーダー 渡辺守将君
4. 懇親会  
第2日
  1. 地曳き網
  2. 分科会報告
  3. 次期大会開催地代表あいさつ
  4. エクスカーション

#### 5. 創立20周年記念大会実行委員会

- 日時 10月22日（金）  
場所 東京 帝国ホテル  
参加者 13名  
内容 1. 準備委員会から実行委員会の移行について  
2. 経過報告  
3. 各事業計画発表  
4. 業界誌、新聞誌上PRの件  
5. その他

#### 6. 全国グループ長会議

- 日時 10月23日（土）  
場所 東京 帝国ホテル  
内容 1. 第20回定期総会の件  
2. 東日本青年印刷人のつどい報告  
3. 20周年記念大会経過報告、今後の方針  
4. 20周年記念史経過報告、今後の方針  
5. 第21回定期大会に沖縄立候補の件  
6. その他

#### 7. その他

1. 52年1月広島印刷青年研究会入会、会

員数 24名

会長 国光俊彦（至誠堂印刷）  
事務局 広島市横川町2-5-8  
中川印刷内

2. 緑友だよりの発刊  
No. 38 51年8月  
No. 39 51年12月
  3. 西日本青年印刷人のつどい  
51. 6. 5（土）大阪カナヨシ旅館
  4. 東日本青年印刷人のつどい  
51. 10. 23（土）東京 帝国ホテル
  5. 常任幹事会の開催  
第1回 51. 4. 5（東京）  
第2回 51. 6. 5（大阪）  
第3回 51. 8. 28（岐阜）  
第4回 52. 1. 29（東京）  
第5回 52. 3. 26（東京）
- 以上

## 昭和52年度事業計画(案)

#### 1. 第20回定期総会

日時 昭和52年4月23日（土）  
場所 名古屋 名鉄グランドホテル

#### 2. 工場見学会

日時 昭和52年9月～10月  
J・C 工場見学会への合流参加

#### 3. 第20回定期大会（20周年記念）の開催

日時 昭和52年10月8日（土）  
場所 東京 帝国ホテル

#### 4. 全国グループ長会議の開催

日時 昭和52年11月  
場所 未定

- 内容 ① 20周年記念大会の総括と慰労  
② 各グループの現状と問題点の交換  
③ 緑友運営についての提案審議

#### 5. セミナーの開催

日時 昭和53年2月～3月  
場所、テーマ未定

#### 6. 緑友だよりの発行（3回）

#### 7. 第21回定期総会の準備

以上

## 昭和51年度決算報告書

(昭和51年4月1日～昭和52年3月31日)

### 収入の部

### 支出の部

科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	147,322 <sup>円</sup>	神戸総会補助金	100,000 <sup>円</sup>
基本金 (27グループ×12,000)	324,000	水戸大会補助金	300,000
会費	1,107,800	会議費	338,225
常任幹事会幹事負担	11,000	事務費	192,930
グループ代表者会議	90,000	慶弔費	90,000
出席者負担		印刷費	89,350
受取利息	13,135	雑費	7,100
		通信費	40,260
		緑友だより	150,000
		会長出張費	100,000
		次期繰越金	285,392
合 計	1,693,257 <sup>円</sup>	合 計	1,693,257 <sup>円</sup>

## 昭和52年度予算(案)

(昭和52年4月1日～昭和53年3月31日)

### 収入の部

### 支出の部

科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	285,392 <sup>円</sup>	総会補助金	100,000 <sup>円</sup>
会費収入 (内訳)	1,596,000	大会補助金	300,000
基本金 336,000 (28グループ×12,000)		20周年大会特別補助金	100,000
会費 1,260,000 (1,050名 @1,200)		セミナー補助金	100,000
		緑友だより	300,000
		会議費	350,000
		事務費	200,000
		慶弔費	70,000
		印刷費	70,000
		通信費	40,000
		会長出張費	150,000
		予備費	101,392
合 計	1,881,392 <sup>円</sup>	合 計	1,881,392 <sup>円</sup>

## 全国印刷緑友会会員名簿

No.	会 名	代表者名	会員数	〒	代 表 者	所 在 地	電 話 番 号
1	仙 台 刷 親 会	郷家忠明	58	980	仙台市北目町2-37	(資) 郷 家 印 刷	0222(66)3443
2	山 形 印 刷 研 修 会	吉 田 博	35	990	山形市木ノ実町9-50	(資) 吉 田 印 刷 所	0236(23)5531
3	福 島 印 刷 彩 友 会	山 川 章	30	960	福島市惹町5-36	(株) 山 川 印 刷 所	0245(23)3304
4	新 潟 印 刷 新 世 会	渋谷徹夫	25	950	新潟市出来島山の下244	(株) 新 潟 活 版 所	0252(44)4195
5	茨 城 緑 友 会	松本英明	35	310	水戸市八幡町1-36	富士オフセット印刷(株)	0292(31)4242
6	印 刷 同 友 会	中村守利	76	108	東京都港区白金1-25-20	中村精巧印刷(株)	03(444) 7111
7	千代田印刷人新世会	青木宏至	47	101	東京都千代田区神田錦町3-9	(株) 精 興 社	03(293) 3011
8	文 京 緑 友 会	鈴木嘉男	62	112	東京都文京区水道1-2-1	公 和 印 刷 (株)	03(813) 5666
9	東京写真製版若葉会	米屋 功	56	140	東京都品川区東品川3-25-4	半七写真印刷工業(株)	03(474) 7861
10	東京プロセス製版青樹会	田中 肇	20	110	東京都台東区谷中3-7-9	(有) 旭 プロセス製版	03(828) 7144
11	神 奈 川 正 和 会	高橋清重	34	251	神奈川県藤沢市藤沢1-1-5	湘 南 印 刷 (株)	0466(25)2465
12	長野青年印刷人緑友会	宮下 博	29	380	長野市東和田50-1	博 光 印 刷 (株)	0262(43)0123
13	長野県上田印刷緑友会	田口祐一郎	14	386	長野県上田市常田2-13-10	田 口 印 刷 (株)	0268(22)0680
14	名古屋而立会	池田達彦	33	464	名古屋市千種区大久手町2-14	東 海 紙 工 (株)	052(741)3256
15	ぎふ印刷翠陽クラブ	水谷勝彦	41	500	岐阜市京町1-8	(資) 水 谷 美 術 印 刷	0582(62)1473
16	大阪青年印刷人クラブ	作道亮雄	65	540	大阪市東区内宝寺町3-34	作 道 印 刷 (株)	06(941) 2525
17	大阪写真製版二世会	尾崎 彰	14	540	大阪市東区内本町1-25	(株) 錦 靖 社	06(942) 5256
18	神 戸 印 刷 若 人 会	近藤明雄	45	652	神戸市兵庫区大開通2-2-11	菱 三 印 刷 (株)	078(576)3961
19	愛媛印刷人青年会	西原 宏	20	790	愛媛県松山市小坂1-7-14	第 一 印 刷 (株)	0899(43)0033
20	広島青年印刷研究会	国光俊彦	25	733	広島市猫屋町2-10	至 誠 堂 印 刷 (株)	0822(32)6111
21	下関青年印刷人緑友会	中村嘉和	25	752	下関市長府町土居の内162-10	昌 榮 堂 印 刷 (株)	0832(45)0105
22	福 岡 印 刷 若 葉 会	末若直司	69	811-23	福岡県粕屋郡粕屋町仲原2878	前 田 印 刷 (株)	092(611)4175
23	北九州Y Pクラブ	白石勝久	21	803	北九州市小倉北区大手町16-27	(株) 一 文 字 印 刷 所	093(561)1585
24	久留米印刷緑友会	林 伸 一	24	830	久留米市荘島町16-24	(名) 林 洋 文 堂	0942(35)2979
25	佐世保印刷若汐会	矢次保夫	16	857	長崎県佐世保市潮見町7-12	(有) 成 文 堂 印 刷 所	0956(31)4706
26	佐賀印刷若楠会	伊東文雄	20	840	佐賀県佐賀市天神町1-79	鹿 島 印 刷 (株)	09522(4)5338
27	熊 本 印 刷 緑 友 会	藤井宏樹	20	860	熊本市市崎町388	中 央 印 刷 紙 工 (株)	0963(54)4191
28	沖縄県青年印刷若潮会	大城新正	29	901-11	沖縄県島尻郡南風原村字兼城206	(株) 近 代 美 術	0988(55)1633

計 988名

事務局 〒166 東京都杉並区和田1-29-11 (社)日本印刷技術協会内 03(384)3111 担当 高橋ゆたか

### 編集後記

- さきの総会で、印刷同友会が会報担当と決まり、本号がその初シゴトです。  
“緑友だより”は、ソモソモナンのために、ダレのために出すのか、また、これからの会報はいかにあるべきか、などと一応マジメに考えて見ましたが、結局のところ、結論がつかめないまま、たいへんカタくて、ありきたりな編集になってしまいました。本号は、とりあえず“総会特集”として記録に重点をおきました。ゼヒ、ご一読下さい。
- 会報は、年に3~4回発行というノルマ?があります。たいへん、弁解じみた話になりますが、編集子の手許には、料理をしようにも、材料(原稿)のストックはゼロ!!ウデの振るいようがないということも事実です。各グループの動向、動静、あるいは行事の予告、報告など、“緑友だより”をコミュニケーションの場として、有効に活用されるよう希望しておきます。(T. K)